

26年10月介護相談員活動記録

施設名	特別養護老人ホームゆめの郷	訪問日	10月7日(火)
<b>【活動内容】</b>			
・入所者と懇談、傾聴			
<b>【面談】</b> 利用者：10人 職員：2人			
<b>【所感】</b>			
<p>・部屋の中が暖かく緑の植物を育てるのは気持ちが良い。ほうづきも挿し木にしたとのこと。自分で草花を育てたり観賞することは心が休まって良いと思う。</p> <p>・右手が不自由な若い方が、腕輪を作って完成させたところだった。ちょうど手首にも入り、大喜びであった。「時間をかけ一生懸命やったので肩が凝った。」と言われていたが、満足気であった。職員が心配りされ、一緒にされることは、張り合いになり良いことだと思う。</p> <p>・異なる部屋の夫婦が老廊下で並んで話をされていた。会話はたくさんできなくてもそばにすることが良く、微笑ましい。</p> <p>・「小学校や保育園の運動会に行ってきた。鼓笛隊が良かった。かわいかった。」と話してくれた。車椅子の方がほとんどで大変かと思うが、社会とのつながりもでき、子供を見ることはとてもうれしい事でもあり、良いと思う。</p> <p>利用者の声：「100歳近くなったのに、ちっともお迎えが来ない。もうあっちの世界に行きたいんだけど…。寿命だでしかたないな。若い衆がお金を出してくれるから心配ないが。」</p>			

施設名	特別養護老人ホームゆめの郷	訪問日	10月30日(木)
<b>【活動内容】</b>			
・入所者と懇談、傾聴			
<b>【面談】</b> 利用者7人 職員：4人			
<b>【所感】</b>			
<p>・Iさん、自分の部屋に招き入れてくださる 「あそこは鈴岡公園かな」と。少しずつ色付いていた。ベランダの鉢植えは珍しい花々でした。切り花の挿し木が根付いたものなどIさんが手を掛けきれいに咲いていた。あれこれと部屋の中の物も説明して下さり、満足して生活している様子が伺えた。</p> <p>・短大の実習生が難聴気味の方と筆談しながら、耳元でも話しながら聞き取り「楽しい・嬉しい」という言葉が聞こえてきた。</p>			

\*報告では「利用者さん」「施設長さん」「職員さん」など敬称が付いていますが省略させていただきます。